

社員管理は「一流」！ 要員配置は「三流」！

9月は1日に10人も特休の分散付与が

指定されている日も！！年休は取れるのか？！

会社は業務量に見合った「要員配置」をすべきです！！

8月10日に貼り出された9月分の社員の「休日予定表」を見ると1日にA担務1人、B担務5人、C担務4人と計10人も「特休の分散付与」が指定されている日があります。また、9月の1ヶ月の中で「2日間も分散特休が指定」されている社員もいます。現状の「予備人数」で、しかも「出張」や「研修」等がガンガン入って今でさえも年休が入りにくい中で、来月は年休が取れるのでしょうか？！

私たちは8月8日に所属する労働組合を通じて本社に対して「東京交検で1日5編成施工している交番検査を6編成に増やす」よう要求を提出しました。

ところで「要員配置」には及び腰の会社も現場での「社員管理」はバッチリです。先日もの何を言いたいのか詳細は言わないのですが、点呼で2回に渡って「溶接場に社員が入って鎖錠して、中でヘルメットを脱いでいたということがあった」「溶接場や記録室等は鎖錠しないように」と「注意指導」を行いました。しかし、以前庫内で女性社員が働くようになって「記録室（現場詰所）で下着姿になって着替えることがあるので、中が丸見えの窓にスモークのシートを貼った方がいいのでは」という社員の声には応じません。あくまでも「社員管理」優先です。でも夏場、通風のために開けていたC通路の9号車と14号車付近のトイレのドアは「セクハラになるから」と常時閉にされました。

帰りの点呼の際に先日からやるようになった「出勤遅延防止の唱和の時の指差し」も「プロジェクトの若手社員の発意」のように映し出していますが、「社員が主体的にやっている」という会社の「演出」です。

社員の皆さん？！「社員管理は一流！要員配置は三流！」の職場でいいんですか？！